

お知らせ

INFORMATION

No.2018-13
2018年5月
病体生理研究所

麻疹ウイルス検査について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、麻疹流行に伴い麻疹ウイルスHI法およびNT法の測定試薬が流行状況によっては不足することが予想され、今後の検査報告遅延や一時受託中止が発生することが想定されますので、ご案内いたします。

ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【対象項目】

◆ 麻疹ウイルス HI法 [10328]

◆ 麻疹ウイルス NT法 [10317]

… 2017年検査案内P.71 検査実施施設(S)

<検査報告遅延や一時受託中止となることが想定されます>

【代替項目】

◆ 麻疹ウイルス IgG [12318]

◆ 麻疹ウイルス IgM [12319]

… 2017年検査案内P.75 検査実施施設(B)

※代替項目として上記項目をご案内いたします。

「医療機関での麻疹対応ガイドライン（第六版：暫定改訂版）」「平成28年5月26日 国立感染症研究所感染症疫学センター」の「麻疹に対する免疫の有無を確認するための抗体価測定方法」において、『酵素抗体法 (EIA法) またはゼラチン粒子凝集法 (PA法) を用いる』と記載されています。

以上